

コンクリート劣化と維持管理

福井県道路メンテナンス会議

勉強会開く

福井県道路メンテナンス会議（会長・中村圭吾 福井河川国道事務所長）の勉強会が7日、福井市花堂南の同事務所で、「福井県におけるコンクリート構造物の劣化の現状と維持管理」をテーマに行われた。

先日、同会議と福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）の間で、



「道路施設の点検・診断等の支援に関する協定書」が締結された。この勉強会は協定を受け、技術者のレベルアップを目的に行われたもの。

石川会長は講師役も務め、アルカリ骨材反応・塩害・凍害による劣化や補修などの対策法、県内での事例などを説明、地域特性に応じた維持管理が必要と提言＝写真。

また、維持管理の取り組みが始まったばかりで技術も未成熟とした上で、対策後の効果検証の重要性や新設時の品質管理の大切さなども説いた。